

倉庫内の危険個所の見える化

- ・A棟、X棟の両方の通路入口上部に「頭上注意！！」の表示をする。
- ・A棟、A-1通路からX棟へ進入する際は、左折してすぐに連絡通路があり、頭上注意の表示に気付かない恐れがある為、A-1通路からX棟へ向かう正面の壁に「左折、頭上注意」の表示をする。



- ・B棟入口正面の、ラックの支柱(目に入りやすい位置)に、「右側手前 バッテリー置き場 接触注意！！」の標識を付け、B棟ロケ進入のリフト作業者に注意喚起する。



- ・バッテリー横の赤いコーンを二つにし、トラ棒をかけ、バッテリーへの接触を防ぐ。



M棟・N棟の中央通路に3本の柱が増設されているが、通路にはみ出して増設されている為、その付近のラック通路へリフトで進入する際は特に注意を必要とする。また柱の色が薄いベージュ色の為、バック時などは目に入りづらく接触の危険がある。

- ・柱にトラ色のテープを貼り、リフト作業時、はみ出している柱が目に入り易いようにした。
- ・周囲確認の徹底を指導すると共に、危険箇所周知でリフト事故防止を図る。

